

スチロール・コンツェルン公開株式会社の2000年2月2日付報告書

減速機R-102-SおよびR-301-V： 稼働中に進む 歯厚の増加

スチロール・コンツェルン公開株式会社、OZK工場、K-2工区・技術部門責任者A.V.トゥゴルコフ承認・事業所の役職者およびXADO有限責任会社地域代表者の署名

ウクライナ、ドネツィク州ホルリウカ市・処理：1999年11月3日・測定：2000年1月5日～2月1日・報告書：2000年2月2日

製品

XADO RVS

XADOの補修・再生剤・処理実施
：XADO有限責任会社、1999年11月3日

試験対象

ポンプ駆動装置の減速機

R-102-S・R-301-V・OZK工場、
K-2工区・各減速機に歯車4個

文書の種類

スチロール・コンツェルン
公開株式会社の
2000年2月2日付報告書（署名・捺印あり）

減速機	処理後の運転時間	測定対象
R-102-S	950 → 1,454 h・測定：2000年1月5日、2月1日	歯厚：歯車4個それぞれにつき4歯
R-301-V	200 → 536 h・測定：2000年1月11日、1月25日	歯厚：歯車4個それぞれにつき4歯

2回の測定はいずれも処理後に行われたものである。報告書は、運転中の装置で歯厚が増加し続ける過程を記録している。

主な結果

↑ **0.095-0.40 mm**

各減速機の歯車4枚の歯厚、R-102-Sは504 h、R-301-Vは336 hの運転

31

測定した歯32枚のうち歯厚が増加した枚数、金属が減少した歯はなし

減速機R-102-S：歯厚、運転時間950 → 1,454 h

歯車	測定1 (mm)	測定2 (mm)	平均増加量 (mm)
MSh (位置1)	6.66～6.80	7.10～7.16	+0.40
BSh (位置2)	6.66～6.70	6.84～6.92	+0.215
MSh (位置3)	8.18～8.28	8.44～8.50	+0.24
BSh (位置4)	8.04～8.08	8.38～8.42	+0.34

測定欄の値は、各歯車の4歯における範囲（R）である。増加量はすべて、2回の測定の間504 hにわたる運転で生じたものである。

減速機R-301-V：歯厚、運転時間200 → 536 h

歯車	測定1 (mm)	測定2 (mm)	平均増加量 (mm)
MSh (位置1)	5.40～5.44	5.50～5.58	+0.12
BSh (位置2)	5.46～5.56	5.64～5.82	+0.23
MSh (位置3)	8.40～8.50	8.46～8.72	+0.095
BSh (位置4)	8.22～8.50	8.42～8.52	+0.12

歯車の記号は報告書の表記に従う。増加量はすべて、2回の測定の間336 hにわたる減速機の運転で生じたものである。

事業所の結論

スチロール・コンツェルン公開株式会社は、2000年2月2日付報告書において次のとおり記録している。減速機R-301-VおよびR-102-SをXADOの処理剤で処理した後、「歯厚の平均増加が認められる」。その値は、2台の減速機の歯車8個で**+0.095 mm～+0.40 mm**である。事業所は特に次のように付記している。「減速機R-102-SはXADO処理後、最初の測定までに**950 h**、減速機R-301-Vは**200 h**運転しており、そのため付属書に示した測定結果は、進行中の再生過程を完全には反映していない」。測定されたのは、2回の測定の間、すなわちR-102-Sでは**504 h**、R-301-Vでは**336 h**に生じた効果の一部にすぎない。金属の増加は、工区の通常運転において、ポンプ駆動装置の負荷を受けて稼働する減速機の歯で生じたものである。

XADO

© XADO。無断複製・転載禁止。

本結果は、スチロール・コンツェルン公開株式会社OZK工場のポンプ駆動装置用減速機R-301-VおよびR-102-Sに関するものであり、他の装置や運転条件では測定値が異なる場合がある。署名・捺印のある2000年2月2日付報告書の原本は全体を公開しており、ダウンロード可能である。RVSはXADOの旧称で、第0世代の製品である。現行世代の製品はリバイタリザント（摩擦面再生剤）である。